

令和5年7月5日（水）

# 魚沼きこえの教室だより

令和5年度 第3号

長岡聾学校小出分教室（小出特別支援学校内）

きこえの教室 担当：高橋 登

〒946-0035 魚沼市十日町 1738-2

Tel:025-792-5462 fax:025-792-5465

mail:takahashi.noboru@nein.ed.jp

## 水泳授業の季節！

多くの小学校・中学校では、6月後半から水泳の授業が始まります。補聴器や人工内耳は濡れると故障につながるため、プールや小雨の屋外活動では外して、濡らさないように保管する必要があります。

難聴の児童生徒にとっては聞こえの条件が悪い活動が増える季節でもあります。先生方のご苦労も増しますが、どうぞご協力ください。

## 補聴器・人工内耳が使えない授業での配慮は？

補聴器や人工内耳を使用している児童生徒にとって、水泳の授業は最も困難さを感じる授業となります。補聴器や人工内耳を外して学習に参加しなければならないうえ、視覚情報が限られているからです。

そこで、次のような支援方法を参考に、支援をお願いします。



- 準備体操や説明までは補聴器や人工内耳を着けていて、プールサイドに出る直前に補聴器・人工内耳を外す。保管する場所も決めておく（できるだけ大人がいる場所）。
- 補聴器や人工内耳を外す前に、授業の流れや練習の内容を伝えておく。
- 前の児童生徒の動きを見ていれば分かるように、並ぶ位置や順番を工夫する。先頭ではなく2，3番目くらいがよい。
- 指示を出す人に注目させるために、よそ見をしていたら周りの児童から合図（肩をトントンと叩いて教える）を出してもらうようにする。
- 合図は音だけでなく、旗や手の動作など視覚的に確認できるようにする。
- 指導者が難聴児童生徒の支援に不慣れな場合は、支援の方法について十分な引継ぎや打ち合わせをしておく。

一人一人のニーズや各校の実情に合わせてできる限りの支援をお願いします。お困りのことがありましたら、きこえの教室担当までご連絡ください。

### ▲夏に多い故障

夏場の補聴器の故障で一番多いのは、汗が原因と思われる電池室の錆（さび）です。汗や湿気が補聴器や人工内耳の中に浸入すると、金属部分の錆や腐食の原因となります。そして、補聴器から雑音が聞こえたり、ロジャーの接続ができなくなったりすることがあります。

### ◎対策としては「こまめに汗を拭き取る」

補聴器や人工内耳を外したら、乾いた布などで汗を拭く。補聴器や人工内耳だけでなく、耳の周りもよく拭く。 体育の後、身体を動かして遊んだ後など「汗を拭こうね」と、ひと声かけていただけるとありがたいです。

もし、学校で補聴器や人工内耳のトラブルが疑われる時は、すぐに保護者に連絡をし、補聴器販売店などで見てもらいましょう。また、きこえの教室にも連絡をいただければ、できる限りの対応をします。

